



東京武蔵野多摩ワイズメンズクラブ

東京YMCA西東京コミュニティーセンター内 〒186-0002東京都国立市東1-4-20-102

ワイズメンズクラブモットー

強い義務感をもとう 義務は全ての権利に伴う

ワイズの信条

1. 自分を愛するように隣人を愛そう
1. 青少年のためにY M C Aに尽くそう
1. 世界的視野をもって国際親善を図ろう
1. 義務を果たしてこそ権利が生ずる事を悟ろう
1. 会合には出席第一、社会には奉仕第一を旨としよう

ワイズメンズクラブの目的

1. 個人的にもまたクラブとしても、その奉仕活動を通じてY M C Aの活動を支援する
2. ワイズメンにふさわしい他の団体を支援する
3. 地域社会や国際的な問題に関心を持ち、一党一派に偏らない正義を追求する
4. 宗教・社会・経済・国際などの諸問題について会員達を啓発し、積極的に参加させる
5. 健全な交友関係を作り出す
6. この協会の国際・地域・区の事業を支援する。

【2022~2023主題】

国際会長 Samuel Chacko (India)

主題: "Into the next 100 Years with FELLOWSHIP & IMPACT"
「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」

スローガン: "BEYOND SELF and BE THE CHANGE" 「自己を超えて、変化を起こそう」

アジア太平洋地域会長 Chen Ming Chen (Taiwan)

主題: "Elegantly Change with New Era" 「新しい時代とともに、エレガントに変化を」

スローガン: "Doing It Right Now" 「今すぐ実行を」

東日本区理事 佐藤 重良 (甲府21)

主題: "Let's act now for the future" 「未来に向けて今すぐ行動しよう」

スローガン: "Do something for someone and have an enjoyable club life for yourself!"
「誰かのために奉仕して 自分のための楽しいクラブライフを!」

あずさ部長 後藤 明久 (富士五湖)

部長主題: 『ワイズへの参加と交流を楽しもう』

副主題: とにかく参加しよう、リアルとズームで行動し発信しよう

東京武蔵野多摩会長 中村 吉孝

会長主題: 「未来に向けて、まずは会員増強から」

THE Y'S MEN'S CLUB
TOKYO
MUSASHINO TAMA



東京武蔵野多摩
CHARTERED 1963

2022年
12月の聖句

「マリアは初めての子を産み、布にくるんで飼葉桶に寝かせた」
ルカによる福音書第2章7節

12月例会の予定

強調月間: キリスト教理解、IBC

日時: 12月11日(日) 17:00~19:00

会場: カフェ ネージュ (新高円寺)
(プログラム)

司会: 宮内

* 開会挨拶、点鐘: 中村会長

* 聖句朗読・説明: 江夏

* ゲスト、ビジター、メンバー紹介

* 議事

* 忘年例会 (近況報告など)

* ハッピーバースデー

* 連絡、報告、にこにこ

* 閉会挨拶、点鐘: 中村会長

11月例会報告

出席者	8名
在籍者	9名
メーキャップ	0名
出席率	89%
ゲスト (リーダー)	1名
ビジター	2名
メネット・コメント	0名

* 12月のハッピー・バースデー
該当者なし

ファンド関係

にこにこ	先月度	累計
にこにこ	4,000	22,800
2次会にこにこ	0	2,203
メルカリ	720	5,175

IBC

Tsim Sha Tsui Y's Men's Club (香港)

Seoul Han Yang Club (韓国)

DBC

神戸学園都市ワイズメンズクラブ



ワイズメンズクラブ紹介ページ



東京武蔵野多摩クラブWEBページ



Facebookページ

【2022-23 クラブ役員】

会長 中村 吉孝
副会長 小林 文彦
書記 山口 直樹
会計 宮内 友弥

クリスマスについて

江夏 一彰

教会暦では11月27日から新しい年となり、みんなが楽しみにしているクリスマスを迎える準備の期間となりました。毎年、書かせていただいておりますが、クリスマスは、英語ではChristmas と表記され Christ (キリスト) + mas (ミサ) からなっており、つまり、キリストのミサという意味になります。では、いつ位から12月25日にクリスマスのお祝いをするようになったのでしょうか。古代教会では、4世紀から降誕を祝う祭日が生まれています。ローマでは、当時さかんだった太陽神崇拜のミトラス教がローマ暦で冬至にあたる12月25日を不滅の太陽神の誕生日としていましたが、教会ではキリストこそ真の正義の太陽であるとの考えから、この日を降誕の日として祝うようになりました。また、暦の種類が異なることから東方教会では、クリスマスは1月7日（東方教会ではユリウス暦を使用しているため、13日のずれが生じます）となります。日本ではクリスマスよりもクリスマスイブである12月24日の夜から大騒ぎとなりますが、根拠があるのでしょうか？ 実は、これも暦の問題なのですが、ユダヤ暦では1日は日没から日没までとなっていますので、つまり、12月25日の1日の始まりは、24日の日没からとなりますので、クリスマスはここから始まるということになるのです。因みに、イブは「evening（夜、晩）」と同義の古語「even」の語末音が消失したものです。

クリスマスはイエス・キリストがこの世に生まれたことをお祝いする日です。イエス様を私たちは静かな気持ちで待ちたいのもです。待つことがなくなった世の中、誰かを思いながら過ごす期間であっても良いかも知れません。大切な人を思いながら、そして、ひとりでも多くの方がサンタクロースとなって、せめてクリスマスだけでも、温かな気持ちを分かち合える日としたいものです。

<東京YMCA便り>

出沼 一弥

▼10月28日に「ウクライナ緊急支援チャリティーコンサート」の第2弾が日本基督教団霊南坂教会で開催し約90名が来場した。飯靖子氏（公益財団法人東京YMCA理事）と方波見愛氏によるオルガンとピアノの演奏の他、東京YMCAの支援により実施されているウクライナYMCA主催プログラムの報告がなされた。コンサート終演後にウクライナ支援の募金を呼びかけたところ、163,601円が寄せられた。

▼11月20日、会員部主催の「ソシヤス2022」がオンラインで開催され、会員、職員、学生他51名が参加した。川平朝清氏（元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授）より「沖縄復帰50年と平和について—ヤングマン&ヤングウーマンに期待すること—」と題して講演をいただき好評であった。講演後は8グループに分かれて講演の感想や意見を分かち合う時間を持った。

▼今後の予定

- 12月7日～9日「日台YMCA連絡委員会」 会場：台北YMCA
- 12月11日「東陽町クリスマスオープンハウス」会場：東陽町センター
- 12月14日「ウクライナYMCA支援活動報告会」 オンライン
ウクライナYMCAによる、現地活動報告（日本語通訳あり）

11月例会報告

山口 直樹

11月9日(水)19:00~21:00

出席者 ゲスト：加納(スピーカー)、間

ビジター：中田(札幌)、山下(十勝)

武蔵野多摩：中村、伊佐(オンライン)、板村、小林(オンライン)、宮内、山口、渡辺(オンライン)、出沼

本日の卓話は、北海道YMCAスタッフの加納昌枝さん。中村会長の北海道YMCAリーダー仲間、現在チャイルドケアセンター統括をされている。今回は「北海道YMCAチャイルドケアプログラム」の紹介を伺った。また、それまで担当されていた北海道YMCA専門学校のライフスキルラーニングコースに関してもお話を伺った。

ライフスキルラーニングコースは発達障害のある青年を受け入れ、社会で生きていく力をつける教育を行うもので、2002年から2017年まで行われていた。私もYの職員であった2003年ごろに聞いた記憶があり、新しい挑戦として素晴らしいと驚いたことを思い出した。その後、社会状況の変化などによりコースが閉校したとのこと。ちょっと残念。

チャイルドケアプログラムの付随事業の「スクール」に関して詳しく内容の説明があった。「スクール」は、夏休みや冬休み中に行われる5日間の日帰りのプログラム。対象は小1-4年生で、9時半から13時半の4時間、今はコロナなので15名定員で行っているとのこと。また、東京をはじめ地方からの参加者も6割と多い。また、リピーターも非常に多く、募集してもすぐにいっぱいになる人気のプログラムである。

活動内容は、段ボールや木材など身近な材料を利用し、自販機づくり、輪ゴム連発銃作成、ビニールドーム、新聞ドーム、大きな書道、段ボールシューターなどいくつか紹介してもらった。写真を通して子どもたちの輝く目を見せてもらった。子どもたちが求めていることを感じながら、毎日違ったプログラムを考えること、またその準備などかなり大変だと思うが、加納さんの強い意気込みを感じた。

子どもが主体となりグループで活動することを基本とし、良い指導者のもとで入念に用意された活動を体験すること。その過程で起こる子どもたちの様々な心の動きを感じ、そこで生まれるコミュニケーションを大切にしているとのこと。参加者の成長を感じさせてもらえる報告であった。

このような「体験活動」の効果は最近改めて認められ始めているとのこと。今までYMCAが行っていた(今は少なくなってしまうと感じるが...)少年活動の原点が、生き生きと北海道で行われていると感じられた時間であった。

また、1897年設立の北海道YMCAは、“boys, be ambitious”で知られるクラーク博士の影響を受けた、札幌農学校の学生の想いをベースに設立されたとのこと。YMCAの原点を改めて思い出した。感謝である。今回はスピーカーの加納さんをはじめ、元東日本区理事の中田さん、LT委員長の山下さんと北海道からの参加者が3名。オンラインも交えた例会の広がりを改めて感じた。

【東京武蔵野多摩クラブの例会に出席して】

山下 真(十勝クラブ)

ワイズドットコムに流れていた投稿に誘われ11月9日の東京武蔵野多摩クラブのハイブリット例会に出席しました。北海道からは札幌クラブの中田靖泰ワイズもご参加されておりました。

今回の例会に強い興味をもったのは卓話者が北海道YMCAの加納 昌枝スタッフだったためです。YMCA会員大会でも明るい雰囲気印象的な方でした。

テーマは「北海道YMCAチャイルドケアプログラムの紹介」で、今までの専門学校での取り組みや、学校の長期休み期間に札幌ウエルネスセンターで行っている「スクール」のご紹介でした。

その中で、YMCAの現場のスタッフが悩みながらも子供たちや青年たちの成長に真剣に向き合いながら、ともに成長していく様をご報告頂き、少し感動してしまいました。

パワーポイントは子供たちの笑顔が満載でいい働きをされているなど印象づけられました。

北海道YMCAの働きを発信していただき、また、それに連なるワイズであることを少し誇らしく感じる事ができる貴重な時間を与えられ東京武蔵野多摩クラブの皆さまには感謝です。

今まであまり表に出ることがなかったYMCAのスタッフの思いにも触れて、これからも、悩みながらも努力して欲しいと思いました。

模索しながら身もだししながら子供たちの成長に向かい合うスタッフの姿に心を動かされ、身近に感じていたYMCAを実は私は遠い存在に追いやっていたのではと振り返っています。

自分に何が出来るか・・・取り急ぎ「無理のない範囲で」ポジティブネット募金をランチに持って行ったのは言うまでもありません。

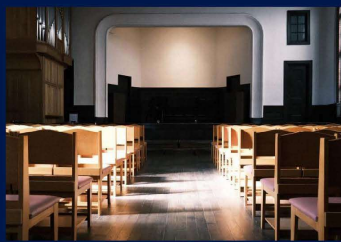
今月および今後の行事予定

- 12月 4日 (日) 13:00～ 次期部長&事業主任研修会
- 12月11日 (日) 17:00～ 12月忘年例会 (カフェ ネージュ)
- 12月21日 (水) 19:00～ 12月第2例会 (Zoom開催)
- 1月 7日 (土) 時間未定 在京新年会 (1月11日から変更)
- 1月25日 (水) 19:00～ 1月第二例会 (Zoom開催)
- 2月4～5日 東西日本区交流会 (神戸)
- 2月15日 (水) 19:00～ 2月例会 (2/8から変更) 歯科医師 堀清貴さん「地域での歯科診療の話題 (仮題)」
- 2月22日 (水) 19:00～ 2月第二例会 (Zoom開催)
- 3月4～5日 次期クラブ会長研修会
- 3月 8日 (水) 19:00～ 3月例会 山田公平次期理事
- 3月22日 (水) 19:00～ 3月第二例会 (Zoom開催)

【2023在京ワイズ合同新年会 開催のお知らせ】

実行委員長 小川 圭一 (東京世田谷クラブ)

三年ぶりの開催です。規模は縮小しますが、礼拝とウクライナ支援のチャリティコンサートです。なるべく早めに登録申し込みをお願いします。



在京ワイズ
合同新年会

受付

11:30～

礼拝

奨励：古賀博 牧師

12:00～

日程
1月7日(土)
場所
早稲田奉仕園スコットホール
(日本基督教団早稲田教会)

登録費

2000円

※当日の受付にてお支払いください。

お申込み

dzf14112@nifty.ne.jp 宛てに
メールをお送りください。
お早めにお申し込みください。

クラブ毎でのお申込みは 12/15 まで
個人でのお申し込みは今すぐに!

ウクライナ支援
チャリティー
コンサート

出演：嘉村えりか 嘉村ゆりえ

12:30～

予定演奏曲

くるみ割り人形
ラ・カンパネラ
主よ、人の望みの喜びよ
革命 他

ホスト 東新部 東京世田谷ワイズメンズクラブ
実行委員長 小川圭一 080-3028-1569 (お問い合わせはこちらへ)

出演者

カノンデュオシスターズ
<嘉村姉妹>

2021年キエフ国際芸術フェスティバルにおいて最高賞受賞。最近では、ウクライナ大使館の協賛を受けながら、日本各地でウクライナ支援コンサートを行なっている。姉妹で埼玉県富士見市市民栄誉賞受賞。志木市長を表敬訪問。同市広報誌の表紙に抜擢される。これまでにNHKテレビ、テレビ朝日、読売新聞、朝日新聞、毎日新聞、ラジオや各地のタウンニュースなどのメディアから取材を受ける。テレビ朝日「スーパー」チャンネル」に出演。



嘉村えりか

ドイツ国立エッセン芸術大学院を首席卒業。ドイツ スタインウェイ国際ピアノコンクール第一位、ショパン国際ピアノコンクール in ASIA 金賞など国内外のコンクールで優勝・入賞。ドイツ、オランダ、ベルギーなどヨーロッパ各地でソロリサイタルを行う。



嘉村ゆりえ

東京藝術大学音楽学部ピアノ科を卒業。全日本学生音楽コンクール全国大会第一位、ヤングアーティストピアノコンクール全賞、セシリア国際ピアノコンクール最高位など数々のコンクールで優勝・入賞を重ねる。総務総務指揮、東京交響楽団と共演。

会場アクセス



- 東京メトロ東西線 早稲田駅より (徒歩約5分)
- JR山手線・西武新宿線 高田馬場駅よりバス (所要時間約10分)
- 東京メトロ副都心線 西早稲田駅より (徒歩約8分)

献金について

「登録費」「礼拝献金」「コンサート会場募金」はすべてウクライナ支援のために使います。ウクライナの平和へお気持ちを寄せてください。

お知らせ

コロナ禍で残念ながら在京ワイズ会長会・懇親会は準備できませんでした。

デザイン：東京 YMCA liby